

惑星の機能的吉凶

惑星がどのハウスを支配するかによって決まるのが、惑星の機能的吉凶です。

以下の原則を当てはめることによって、各星座のラグナごとの惑星の吉凶が決まります。

それらの原則をコンパクトにまとめたものが以下になります。

吉凶の条件	NO.	説明
ケンドラを支配する場合	1	吉星がケンドラを支配すると吉意を失うが、凶星がケンドラを支配すると凶意を失う。
	2	吉星はケンドラを支配することによって吉意を失う。(機能的凶星化する) 吉意を失う度合いの大きい順番は、金星 > 木星 > 水星 > 月である。 つまり、ケンドラを支配すると金星が最も吉意を大きく失う。
	3	ケンドラを支配する生来的凶星が同時にトリコーナを支配する時、ラージャヨーガカラカとなる。
トリコーナを支配する場合	4	生来的吉星であれ、生来的凶星であれ、トリコーナを支配すると、機能的吉星となる。
	5	ケンドラとトリコーナの両方を支配する惑星、ラグナの支配星はよい結果をもたらす。
トリシャダハウスを支配する場合	6	トリシャダヤハウス(3室、6室、11室)を支配する惑星はよい結果をもたらさない。(凶星化する)
	7	ケンドラの支配星、あるいはトリコーナの支配星が同時にトリシャダヤハウス(3室、6室、11室)を支配するとき、ラージャヨーガカラカとはならない。
	8	8室の支配星が同時に3室、6室、11室を支配するとき、わるい結果をもたらす、1室、5室、9室を支配する場合、よい結果をもたらす。
序列について	9	吉凶の程度はハウス番号が大きくなるにしたがって大きくなる。 ケンドラの吉意の強い順 $10 > 7 > 4 > 1$ 但し、7室はマラカでもあるため、注意が必要。 トリコーナの吉意の強い順 $9 > 5 > 1$ ドゥシュタナハウスの凶意の大きい順 $8 > 12 > 6$ ドゥシュタナハウスのみ例外的に8室が凶意が一番大きくなる
敏感な中立ハウスの場合	10	2室、12室、8室を支配する惑星は、絡む惑星の吉凶、もう一方の支配ハウスによって吉凶が決まる。(2室、12室、8室は敏感な中立ハウスと呼ばれる)
	11	8室の支配星はわるい。8室は9室から12室目(損失)を支配するため。
	12	太陽と月は8室を支配しても悪影響をもたらさない。 (但し、ラオ先生は本当かどうか分からないと言っている)

こうした惑星の機能的吉凶や強さを決定し、定量化して、ビジュアル的にも分かりやすく表示することが厳密な鑑定を行なうに当たって非常に有効です。(これはハワイ在住のポール・マンレイ氏が来日セミナーで示したやり方に基づきます)

支配による吉凶分類		
支配するハウス	もう一つの支配するハウス	機能的吉凶
1、5、9室	4、7、10室	吉
1、5、9室	3、6、11室	吉(但し、問題あり)
1、5、9室	2、8、12室	吉(但し、問題あり)
3、6、11室	4、7、10室	凶
3、6、11室	2、8、12室	凶
4、7、10室	1、5、9室	吉
3、6、11室	1、5、9室	吉(但し、問題あり)
2、8、12室	1、5、9室	吉(但し、問題あり)
4、7、10室	3、6、11室	凶
2、8、12室	3、6、11室	凶

在住による吉凶分類		
惑星種別	在住するハウス	吉凶
生来的吉星	1、5、9室、4、7、10室	吉
生来的吉星	2、3、11室	中立
生来的吉星	6、8、12室	凶
生来的凶星	1、5、9室、4、7、10室 2室	中立
生来的凶星	4、7、10室	中立
生来的凶星	3、6、(10室)、11室	吉
生来的凶星	8、12室	凶

これらの惑星の吉凶をラグナ、月、太陽の3つのラグナから、**生来的吉凶**、**機能的吉凶**、**在住の吉凶**、**惑星の強さ**の順に印をつけて惑星の吉凶及び強さを分析します。